

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出(施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に)													
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R5計画時	R5実績	R5目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6方向性	R6計画時	市総合計画	まちづくりアンケート
													R4 R5速報値
1		令和5年度 俳句入門教室	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 3-Ⅰ 5-Ⅰ 7-Ⅰ	日常的に俳句に親しみきっかけとして、どこから・何から始めたらよいのか手ほどきから、句会に参加できるまでを学び、俳句人口増加をめざす。 芭蕉生誕地であり俳人が多くとされる伊賀で、子どもの頃の宿題が大変であり、大人になっても苦手意識のある人も多い。苦手のままではなく、俳句は楽しいもの、続けてみたいという思いをもつ。	参加者数 60 開催数 3回 開催経費 50,000 収入 2,000	27 3回 44,000 1,500	定員20名としているが、各回平均10名で、初心者や句会には丁度良い人数である。 その中から、幾人かは市内の句会に参加し始めた。 終了者の中から、献詠俳句児童生徒の部選者が誕生した。	継続	60 3 50,000 1,000		
2		令和5年度 気楽に俳句会	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 3-Ⅰ 5-Ⅰ 7-Ⅰ	俳句入門教室を修了したが、どこの句会にも参加できず、せっかく始めた俳句を作る機会としての句会とする。 また、コロナ過で様々な句会や俳句大会が中止され、句会の無い人々に熟練、初心関係なく和気あいあいとした句会で俳句を楽しむ。	参加者数 40 開催数 2回 開催経費 30,000 収入 0	19 2回 35,000 1,200	参加人数が少ないため、周知方法を検討する。	継続	40 2 30,000 3,000		
3		研修・講師派遣事業	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	地域や学校などで、芭蕉さんのことや俳句作りの教室研修の講師について依頼があった場合に、講師の紹介及び派遣により、それぞれの研修の支援をする。	参加者数 開催数 3 開催経費 収入	- 3 - -	毎年同地域からの依頼があるが、一定の地域に留まっている。	継続	- - - -		
4		大人の寺小屋	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅰ	史跡芭蕉翁生家で、芭蕉さんのお父さんが子どもたちに読み書きを教えていたとのことに倣い短時間で継続性のある内容で行う。	参加者数 48 開催数 4 開催経費 22,000 収入 1,000	44 4 22,000 900	今までなかった講座であり、短時間分り易いと好評を得た。定員が毎回12名と少ないので、参加できなかった方へ資料の提供をした。	継続	- - - -		
5		丸之内地下道掲示板 芭蕉さんの句及び季節の句掲示	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅰ	毎日通る高校生などが、俳句によって季節の移り変わりを感じる事が出来る。 また、観光客などは、季節だけでなく、芭蕉さんのふるさと伊賀らしさを感じることができる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - - -	広告効果を上げるために、掲示板の開閉しやすさ、また常時清掃しやすい設備が必要。	継続	- - - -		
6		芭蕉講座	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-Ⅰ 5-Ⅰ	芭蕉、俳句、俳諧の研究者や俳人の講演により俳文学の振興等を図る。	参加者数 100人 開催数 1回 開催経費 120,000 収入 5,000	43人 0回 80,000 3,500	芭蕉や俳文学の研究者の講演は難しいという印象を与え、俳人の講演であると、若干参加者が増える。	継続	100 1 170,000 5,000		

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充(施策の方向Ⅰ 子どもたちの心を豊かに、Ⅱ 成長に即した文化芸術の提供)													
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R5計画時	R5実績	R5目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6方向性	R6計画時	市総合計画	まちづくりアンケート
													R4 R5速報値
7		令和5年度 こども俳句教室	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	俳句を楽しみ学び、俳句が好きな子を増やす。  将来的には、こども句会を定期的(月1回)に開催し、その句会には、都合のつく子が自由に出入りできるようにする。	参加者数 60人 開催数 3回 開催経費 40,000 収入 3	0人 0回 9,300 0	土曜日開催であるが、高学年になると他の事業予定と重複し参加しにくい。また、小学1年生と6年生と一緒に指導するのは難しい。 子ども向けの別の事業を検討する。	中止・廃止する 他の事業との組み合わせる。	- - - -		
8		令和5年度 夏休みこども俳句指導	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	長年「俳句の日」に「こども俳句教室」を行い、芭蕉翁献詠俳句の事業として夏休みの宿題になっている「献詠俳句」の指導を行っていたが、当日の成果発表もないため、複数日の個別指導の機会をつくる。 都合のよい日、よい時間に、個別に指導を受けることができる。	参加者数 60人 開催数 3回 開催経費 42,000 収入 0	22人 3回 57,000 0	初年度であったため、PR不足。2回目からは口コミで参加者が増えた。 夏休み終盤は参加者が少ない。	継続	60 3 50,000 0		
9		令和5年度 こども俳句合わせ(バトルバナナ)	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	芭蕉翁が「貝おほひ」を上野天満宮へ奉納したことに肖り実施。 こどもたちが俳句を楽しむために、一定のゲーム性を持たせる。	参加者数 36人 開催数 1回 開催経費 100,000 収入 0	0人 1回 14,400 0	初年度である令和4年は、新型コロナの第7波の到来により、チーム募集後、大会直前に中止決定した。 本年度は再開した夏祭り日程が重複したこと、周辺駐車場が使用不可などで、急遽中止した。	継続	36 1 100,000 0		

【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備(施策の方向Ⅰ 施設の管理と機能の発揮、Ⅱ 施設の保存と有効活用)													
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R5計画時	R5実績	R5目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6方向性	R6計画時	市総合計画	まちづくりアンケート
													R4 R5速報値
10		蓑虫庵管理事業	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		4-Ⅰ 4-Ⅱ	芭蕉翁ゆかりの蓑虫庵を保存・管理し、一般の参観に供することによって市民文化の向上及び文化の振興を図るとともに、地域の振興に資する	参加者数 2,000人 開催数 開催経費 5,581,000 収入 5,385,000	2,264 - 7,055,402 6,062,350	定休日以外に休庵することなく運営したが、参観者は前年より、およそ900人の減少である。 また、茶会利用者もやや復活した。	継続	2,000 - 6,295,000 6,202,000		
11		蓑虫庵講座	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		4-Ⅰ 4-Ⅱ	芭蕉の弟子服部土芳の庵管理の一環として、毎年春分の日に土芳や芭蕉について、学芸員が講演を行い、春めいた蓑虫庵参観のを促す。	参加者数 30人 開催数 開催経費 10,000 収入 1,000	24人 - 15,000 1,800	講演会には会場が狭隘。	継続	30 - 20,000 1,000		
12		史跡芭蕉翁生家管理事業	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		4-Ⅰ 4-Ⅱ	俳聖松尾芭蕉ゆかりの史跡芭蕉翁生家を保存・管理し、一般の参観に供することによって市民文化の向上及び文化の振興を図るとともに、地域の振興に資する	参加者数 5,000人 開催数 開催経費 5,160,000 収入 5,290,000	3,722人 - 5,367,596 4,693,760	再開2年目で、定休日以外に休館することなく運営したが、参観者は前年より、およそ900人の減少である。	継続	4,000 - 5,290,000 5,485,000		

2023(令和5)年度 伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人芭蕉翁顕彰会)

(令和6年7月12日現在)

資料4

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造 (施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造)														
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R5		R5	R5	R6	R6	まちづくりアンケート	
							計画時	実績					目的達成度、課題など実施により感じたこと	方向性
13		令和5年度(第77回)芭蕉祭	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		5-I	芭蕉翁が元禄7年(1694)10月12日、51歳で亡くなった翌年から毎年開催し、翁を偲ぶ。	参加者数			継続				
							開催数	1回	1回					
							開催経費	7,033,000	6,106,691					
							収入	6,503,000	6,618,000					
14		令和5年度(第77回)芭蕉祭 月見の献立歓迎会	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		5-I	復元研究した「月見の献立再現の会」により調理され、世に広め後世へ伝えていく。	参加者数	30人	30人	継続				
							開催数	1回	1回					
							開催経費	130,000	93,202					
							収入	-	-					
15		令和5年度(第77回)芭蕉祭 全国俳句大会	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		1-I 1-II	芭蕉祭式典終了後、参列者が俳句大会で芭蕉翁を偲ぶ。	参加者数	80人	60人	継続				
					5-I		開催数	1回	1回					
					開催経費		290,000	228,851						
					収入		0	0						
16		令和5年度しぐれ忌	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会・伊賀市		5-I	芭蕉祭を新暦で実施しているのに対し、旧伊賀町の芭蕉翁顕彰会が旧暦の命日に芭蕉翁を偲び実施していた。市町村合併、顕彰会合併を経て、当日の運営を地元山出地区「しぐれ忌協賛実行委員会」に委託し、翁を偲ぶ。	参加者数	100人	90人	継続				
							開催数	1回	1回					
							開催経費	300,000	300,000					
							収入	0	0					
17		令和5年度 土芳忌	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		5-I	芭蕉翁の句や教えをまとめ後世へ伝えた芭蕉の弟子、伊賀蕉門の中心であった服部土芳のを称え、偲ぶ。	参加者数	30人	20人	継続				
							開催数	1回	1回					
							開催経費	20,000	20,000					
							収入	0	0					
18		令和5年度 土芳忌追善の講話	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		5-I	芭蕉翁の句や教えをまとめ後世へ伝えた芭蕉の弟子、伊賀蕉門の中心であった服部土芳のを称え、偲ぶ。	参加者数	30人	20人	継続				
							開催数	1回	1回					
							開催経費	5,000	0					
							収入	0	0					
19		令和5年度 土芳を偲ぶ俳句会	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		1-I 5-I	芭蕉の弟子、服部土芳の命日に俳句会を行い土芳を偲ぶ。	参加者数	50人	15人	継続				
					開催数		1回	1回						
					開催経費		40,000	28,000						
					収入		0	0						
20		令和5年度 俳句の教え方教室	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会		2-I 2-II	市内の小中学校では芭蕉祭に献詠するため、俳句が夏休みの宿題となっている。俳句裾野を広げる指導者が、俳句指導の取組方について学ぶ。	参加者数	30人	24人	継続				
					5-I		開催数	1回	1回					
					開催経費		10,000	3,500						
					収入		0	0						